



## 学校だより No.33

令和3年11月17日(水)

泉崎村立泉崎中学校

# 白 樺

発行責任者 校長 桑原透

### 泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

### 目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

## 祝「英語弁論大会暗唱の部」東北大会準優勝！

英語弁論大会県大会で優勝した菊地さんが東北大会に出場しました。コロナ対策のために、Zoomでの開催となりました。その結果、東北大会準優勝という素晴らしい結果となりました。結果を受けた職員室では、歓喜の声をあげて喜びました。受賞した菊地さんから一言もらいました。なお、創作の部で県大会優勝の半澤くんは、全国大会への参加です。こちらもビデオ審査となり、今月中に審査が行われる予定です。

「英弁東北大会に参加して」 3年 菊地さん

Zoomでの大会参加になりましたが、Zoomだからこそ、他県の生徒さんと話す機会が多かったように思います。また、大学の先生の講話を聴くことができ、非常に良い学びになりました。私のために全力を尽くし、そして応援してくれた方々に、本当に感謝しています。有難うございました。

## 生徒に大人気！ ゆかた着付け教室(3年)

3年生の家庭科の授業で「ゆかた着付け教室」を行いました。那須塩原市から和装文化伝承会の皆様を講師にお迎えし、「衣服の構成『伝統に息づく和服の文化』」について、実際のゆかたの着付けを通して学びました。このゆかた着付け教室は昨年度初めて実施し、今年で2年目となります。伝承会様の御好意により、本格的な浴衣を安価で貸し出していただいているので、毎年生徒たちには大人気の授業です。着付けだけでなく、和服文化の講義や浴衣をきちんとたたんでしまうところまで行いました。最後は記念写真を撮りました。

「ゆかた着付け教室行って」 3年 相田さん

今回はこの「ゆかた着付け体験教室」を実施していただき有難うございました。自分はゆかたについて知識が浅かったのですが、この体験を通してゆかたについてたくさんを知ることができました。これからもぜひ関わっていきたいです。



# 「児童虐待防止推進月間」について

文部科学省からの  
通知の内容です。厚  
生労働省の主唱に

より、平成16年度から毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、児童虐待防止のための集中的な広報・啓発活動を行っています。

文部科学省では、今年の「児童虐待防止推進月間」に、文部科学大臣より、全国の家庭・学校・地域の皆さま、全国の子どもたちに対して、児童虐待の根絶に向けたメッセージを発信することとし、下記のとおり文部科学省のホームページに掲載しましたので、お知らせいたします。

11月は児童虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数(速報値)が初めて20万件を超えるなど、極めて深刻な状況です。新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安やストレス等に伴い、児童虐待のリスクが一層高まっています。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

虐待は、殴る、蹴るといった身体的虐待だけではなく、言葉で脅す、無視するなどの心理的虐待、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にするなどのネグレクトや性的虐待もあります。いずれも子供たちの心身に深い傷を残します。

保護者の皆さま、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。不自然な傷のある子供や子供の養育に無関心な保護者など、虐待が疑われるサインに気付いた際は、最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」(“いちはやく”)に相談・通告してください。

児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が丸となって子供たちを見守り、育てることが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

## 全国の子供たちへ

大人からたたかれたり、ひどいことを言われたりしていませんか。  
これらのことで、あなた自身や、お友達が困っていたら、一人で悩まず、  
学校の先生やスクールカウンセラーなど周りの大人に相談してください。  
もし、直接相談しにくい、というときは、  
「189」(“いちはやく”)に電話してください。24時間つながります。  
虐待を専門的に見ている人が、あなたの話を聞いてくれます。  
その他にも、文部科学省HPでは虐待をはじめ、様々な悩みや不安を電話やSNSで相談できる窓口を紹介しています。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)



令和3年11月  
文部科学大臣

末松信介